

仰木の里学区 自主防災会だより

2026年
7月号
VOL.13

ご挨拶



仰木の里学区自主防災会 会長 津原 士郎

仰木の里学区のみなさん、いつも自主防災活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。本年度も21防災部とともに災害に負けないまちづくりを目指し、力を合わせて活動を推進いたしますのでよろしくお願いいたします。

令和8年度本部役員・ブロック本部役員

会長	津原 士郎（中央）	副会長	松本 清（中央）	新道 正宏（東7）
事務局	事務局長：松田 八郎（衣川台）		事務局次長：山崎 悟（レイクウエスト）	
	事務局員	杉田さと子（山の下）	稲垣 司郎（山の下）	
会計	松本 利寛（中央）	会計監査	織戸 英信（衣川台）	松本 進吾（東5）
要支援者担当役員	社会福祉協議会会長：松村 裕雄（東山）		民生・児童委員協議会会長：安井 稔浩（仰木台）	
顧問	兵頭 諱（中央）	田中 隆（中央）		

	里ブロック				里東ブロック			
ブロック長	正	松本 清（中央）	副		正	新道 正宏（東7）	副	
事務局員	正		副		正		副	
情報連絡部長	正	前田 朗（里西）	副	佐々木 喜久子（里北）	正	天川 博之（里南）	副	
消火部長	正	五十嵐 源三（里西）	副		正	宇佐美 晃（衣川台）	副	
救出救護部長	正	吉田 忠弘（東山）	副		正	喜多 茂（東2）	副	
給食給水部長	正	中橋 真弓（中央）	副	高橋アキ枝（ヴェルディール）	正	松本 利恵（東5）	副	皆川 香織（里南）

※ ブロック本部役員として防災活動に力を貸して頂ける方を募集しています。

ご協力頂ける方は、会長津原(090-4649-0401)、事務局松田(080-2675-5185)まで連絡をお願いします。

令和8年度行事予定

	項 目	対 象	開 催	内 容	備 考
研修会	防災部長研修会	防災部長 副部長	年2回	自主防災部活動のすすめ方	自主防災会本部
	本部役員研修会	本部・ブロック役員 防災士	年2回	地区防災計画推進に向けた 研修の実施	自主防災会本部
講演会	防災講演会	全住民	8月	仰木の里の被災想定を理解と 共助意識の高揚をはかる	講師未定
発災時体制 確立	学区発災時体制 調整会議	支所・小中高校 まち協・自主防	7月	発災時体制に係る 関係者・役員の調整会議	自主防災会 まち協
防災訓練	自主防災部訓練	各自主防災部住民	各防災部 年1回	訓練計画の立案・実施	消防署・分団 自主防災会本部 防災士
	災害時を想定した 給食訓練	里ブロック本部	年1回	ガスの供給停止や停電を想定した炊 出し訓練	
	避難所運営訓練	仰木中学校	年1回	学区関係機関・団体による 避難所開設手順の確認	
	学区総合防災訓練	里東 ブロック全住民	11月8日(日)	里東ブロックの総合的訓練実施	
児童防災教育	防災マップ教室	里小4年生	6月17日(水)	防災マップ作り（フィールドワーク）	自主防災会
	防災教室	幼・保育園児 小・中学生	各1回	児童防災知識の向上	自主防災会
広報活動	広報紙の発行	全住民	年2回	事業計画の実施状況の報告 住民の意見・要望の反映等	本部事務局
資機材管理	備品・備蓄品の拡充 及び使用方法の研修	学区内	通年	発電機・無線機等取扱い研修の実施 備蓄品・防災倉庫の維持管理	自主防災会

自主防災会ホームページ

各種行事案内や防災役員向けの資料などを掲載していますので是非ご覧ください。

<http://oginosatojishubo.com/>



令和8年より 気象の警報などが 大きく変わります

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

防災気象情報 いつ逃げる？ レベルで 判断！

避難の判断がよりしやすくなる

【一覧表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			



警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧)「大雨警報」
→ (新)「レベル3大雨警報」

警戒レベル3（高齢者等避難）に相当



「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧)「土砂災害警戒情報」
→ (新)「レベル4土砂災害危険警報」



河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】

(旧)「洪水警報」

→【洪水予報河川※】

(新)「レベル3氾濫警報」

→【洪水予報河川以外の河川】 (新)「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川



線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧)「顕著な大雨に関する気象情報」

→ (新)「気象防災速報（線状降水帯発生）」

(旧)「記録的短時間大雨情報」

→ (新)「気象防災速報（記録的短時間大雨）」



避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ

数日～
1日前

半日～
数時間前

数時間～
3時間前

2時間～
0時間前

災害
発生

レベル1 早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

レベル2 注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

レベル3 警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

レベル4 危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

レベル5 特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、 どう受け取る？



警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。



このあとどうなる？ をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。



キキクル 検索

▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

〇〇市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）																		2026年XX月XX日11時00分発表										過去・関連する現象
〇〇市	地域	28日												29日					30日									
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24															
1時間最大雨量 _(mm)						10	30	50	50	30	20	10																
24時間最大雨量 _(mm)						200										200												
大雨																												
土砂災害																												
高潮	潮位 _(m)	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	0.5														

緊急地震速報 ～その時どう動く？「数秒間の心がまえ」

わずかな時間でも強い揺れが到達することをいち早く知ることによって身構えることができる！

！ 緊急地震速報の「警報」と「予報」

	警報	予報
発表基準	震度5弱以上を予想 または 長周期地震動階級3以上を予想 (震度4以上を予想した地域 または 長周期地震動階級3以上を予想した地域に発表)	マグニチュード3.5以上を推定 震度3以上を予想 または 長周期地震動階級1以上を予想
主な対象	広く一般向け： 人が強い揺れから身を守るために活用	高度利用者向け： 主に列車や機器の制御などに活用

長周期地震動ってなに？

大きな地震で生じる周期に長いゆっくりとした大きな揺れを長周期地震動といいます。震源から遠く離れたところ（数百km以上）でも、高層ビルを長時間にわたって大きく揺らすことがあります。

猶予時間が限られることから、緊急地震速報を見聞きしたらまずは身を守る行動を取り、揺れが収まるまで行動を続けましょう



家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。